

兵庫県立浜坂高等学校 学校だより ～ 表現力から発問する力、発進する力へ～



浜坂高校通信

令和3年度 第12号 令和4年3月4日発行

〒669-6701 兵庫県美方郡新温泉町芦屋 853-2

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~hamasaka-hs/>

祝卒業

令和4年2月28日(月)、第71回卒業証書授与式を挙行了しました。穏やかな天候で春の暖かさも感じられるこの日、卒業生75名の門出をお祝いしました。今回在校生は卒業式に出席することができず少し寂しい部分もありましたが、その分ご来賓の皆さま、保護者の皆さまに華を添えていただきました。卒業生は最後のホームルームのあとも卒業アルバムにメッセージを書きあったり、写真を撮ったり、お世話になった先生にあいさつをしたりと、名残惜しい時間を過ごしていました。3年生の皆さん、ご卒業おめでとう。更なる飛躍をお祈りしています。





～答辞～（抜粋してご紹介させていただきます）

三年前、元号が平成から令和へ変わるとともに、私たちは、高校生としての新たなスタートを切りました。一年生の春、新しい先生、友達、学校への「楽しみだ」という気持ちと、「クラスになじめるかな」「勉強についていけるかな」という不安な気持ちが入り混じっていました。

入学したての一年生の教室では、まだ浜中と夢中、それぞれの学校出身者の間に距離がありました。一番最初にした他己紹介では、初めて話す友達も多く、これからの学校生活にわくわくしました。少しずつ友達の輪を広げていって話せるようになって、今まで懂れていた高校生活が楽しみに became ました。行事にも日常の何気ない部活にも、何事にも全力投球だった

ように思います。何より、時間とともに友達が増えていくことが、本当に嬉しかったです。

そして、一年生の終わり。連日話題となっていたコロナのニュース。私たちには関係ないと思っていた矢先、学校が休みになりました。新しい学年になっても学校に行けず、当たり前を失うってこんなに怖いことなんだと感じました。二年生。遠足は中止になりました。修学旅行も行けるかわからない状況で、私たちは「修学旅行のない高校生活なんてあるの?」と、次々失っていくことと先の見通しが立たないことに不安が募るばかりでした。

思いっきり戦って思いっきり応援した体育祭。本番では競技にも応援にも全てに全力で、心の底から楽しいと思えました。お互いのクラスが一つになれた瞬間がたくさんありました。

在校生へ。いつも明るくて元気というのが皆さんのイメージです。「先輩!」と声をかけてくれたり、世間話をしたり、一緒に部活をしたり…。私たちが「良い先輩」になれていたかはわからないけど、関わられて本当に嬉しいです。みなさんの、周りを明るくする笑顔と元気で、浜坂高校を引っ張ってってください。そして、友達、先生、先輩、後輩との時間を大切にしてください。高校生のうちにしかできないこと、浜高でしかできないこと、たくさんあります。今、一緒にいる仲間は永遠じゃないから、一つ一つの出来事を思い出と経験にしてください。いつでも応援しています。

私がみんなに一番伝えたいことは、人生の中で三年間しかない貴重な時間で一緒に思い出を作ってくれてありがとうということです。なんで私たちだけ?とか辛いと思うことがたくさんありました。だけど、絶対にそれは私たちにしかない思い出だから、これからも大切にしていましょ。そして、この三年間を充実したものにできたのはみんなのおかげだと思っています。本当に素敵な人たちと出会えたことが宝物だと思っています。3年間、本当にありがとう。

令和四年二月二十八日 卒業生代表 山田 瑞姫

たちばな賞

2月25日(金)たちばな賞受賞者の表彰式を行いました。

3年間勉強や部活など、学校生活において優秀であると認められた生徒に贈られる賞で、特別賞と皆勤賞があります。

今年度は特別賞を3名、皆勤賞を14名が受賞しました。

おめでとうございます。



特別賞

株本裕唯子 諸道竜馬 山田瑞姫

皆勤賞

北村妃捺汰 中井麻衣 西村碧衣
福井友希 森田花織 山本啓太
朝野太陽 岡野尊斗 岡本莉実
竹田望愛 竹中翔大 田中千寛
中村圭吾 藤田聖樹

その他の記事や詳細、行事予定等は、浜坂高校ホームページをご覧ください。